

第72次 印旛地区教育研究集会
(社会科教育・小学校)

研究主題

主体的・対話的で深い学びに導く社会科授業の在り方
～小学校第6学年 「日本とつながりの深い国々」の単元を通して～

資料編

資料 1	学習指導要領第6学年の目標及び内容	P 1
資料 2	公津の杜小・豊住小 共同授業までの学習ステップ	P 2
資料 3	授業で活用した資料 ・デジタル資料集 ・ユニットシート	P 5
資料 4	児童が作成した発表資料	P 7
資料 5	抽出児童の様子	P 1 2
資料 6	評価テスト	P 1 5
資料 7	参考資料	P 1 8

資料 1 学習指導要領第 6 学年の目標及び内容

目標

- (1) 我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国もの歴史や伝統を大切にしてい国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

内容

- (3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ア) 我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。
 - (イ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え表現すること。

資料2 公津の杜小・豊住小共同授業までの学習ステップ

(1) ロイロノートの概要

公津の杜小学校と豊住小学校が共同で授業を進めていくにあたって、単元全体を通して活用した学習ツールが「ロイロノート」である。

ロイロノートは、情報や考えをまとめた「テキスト」を容易に作成することができるアプリである。また、作成したテキストは、同じ授業を選択している児童同士で共有することができ、双方向でのやりとりも可能である。

公津の杜小学校と豊住小学校のように離れた場所であっても、調べたことをまとめたりテキストを共有したり、「生徒間通信」機能でチャットでのやりとりをしたりすることができ、本単元では、どの時間でもロイロノートを軸に学習を進めていった。



【チャットの例】

授業を進めていく中で生じた疑問などは、チャットを使って共通理解したり、進捗状況を伝える発表を聞いての感想を伝えたりした。

資料は同じものを使いますが発表は公津の杜と豊住別々です。こちらで発表の構成を立てたので「最初のページ」か「まとめのページ」のどちらかご自分が調べたページの資料を送ってください。

3月1日(火) 9:10

みんなの発表のしかたがわかりやすかったです。明日もよろしくお願いします。

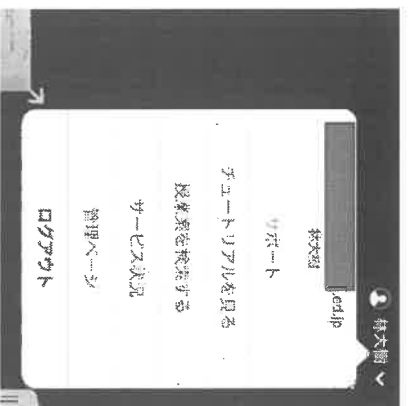
3月1日(火) 8:56

(2) ロイロノート 共同授業実施までの手順

公津の杜小学校 6年 4組の児童と豊住小学校 6年 1組の児童が所属する「授業」を作成する。

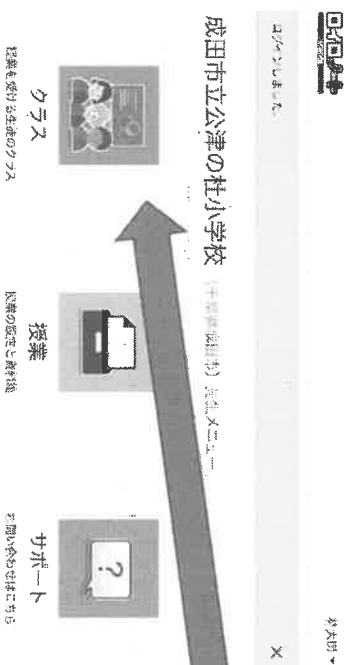
管理ページより、児童の登録や解除ができる。児童のアカウント名とアドレスがわかれば、簡単に登録をすることができる。

①



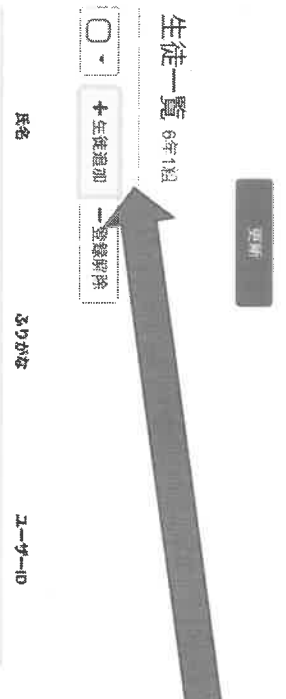
①まずは、管理ページにログイン

②



②次にクラスを選択し、児童の登録をする。

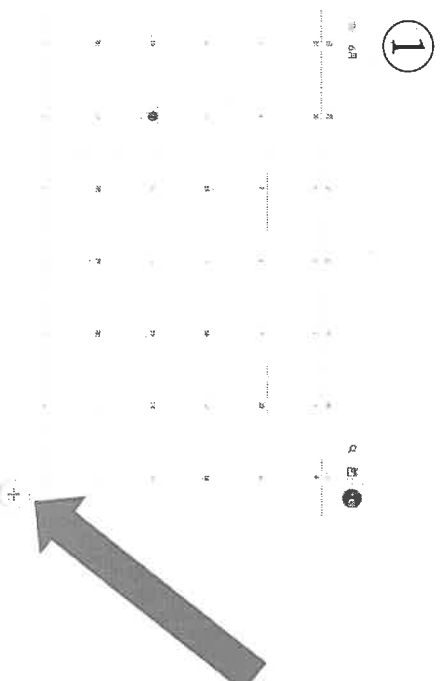
③



③次に、「生徒追加」から児童のアカウントを選択または登録し、追加をする。作業完了。

(3) GoogleMeetによるオンライン交流の手順


①



① Google カレンダー
を選択し、+マークか
ら予定を追加する。

②

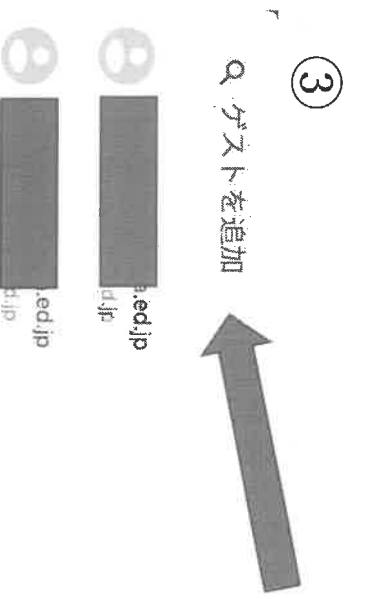
タイトルを追加



② ビデオ会議を追加を
選択して、Meetのルー
ムをつくる。

③

ゲストを追加



③ ゲストの追加より、同じル
ームにしたい児童のアカウ
ントを登録。予定日になっ
たら、Meetで繋がること
ができるようになる。

資料3 授業で活用した資料（デジタル資料集・ユニットシート）

本研究では、教科書を使った調べ学習以外にも、ICTを活用した調べ学習も重視した。しかし、単純なインターネット検索による調べ学習では、調べる情報が多岐にわたったりすぎてしまい、混乱が生じてしまう可能性もある。そのため、あらかじめ教師側で「デジタル資料集」を作成し、調べ学習の参考となるようにした。

**アメリカ
デジタル資料集**

ロイロノート
のテキスト
を利用して作成し、
児童に送った。

教科書でも調べられる
ように、該当するペー
ジを記載した。

学校の様子
P70～P71
日本と似ているところと違っているところに
注目して調べてみよう

文化やスポーツ、行事などの様子
P72 73
日本に影響を与えていることがたく
さんあるので注目してみよう

NHK for School (<https://www.nhk.or.jp/school/>)
の動画も活用できるようにした。

タップすると、ページが開けるようになっている。
アメリカの学校の様子は、キッズ外務省
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/index.html>)
のページを参考にした。





※指導書に掲載されているウェブサイトの情報に基づき作成。

日本とつながりの深い国々 ユニットシート

【ゴール】

- ・自分で決めた国について調べ、日本と似ているところや、生活のちがいについて理解する。
- ・調べた内容をロイロノートにまとめ、発表で伝える(グループ)。

【国】

アメリカ合衆国	中華人民共和国	大韓民国	サウジアラビア
			

【テーマ】

- A 学校の様子
- B 文化やスポーツ、行事などの様子
- C 産業の様子
- D 衣食住

【スケジュール】

	内容	時間
〈つかむ〉	単元の見通しをもち、調べる国を決定する。 学習の計画を立てる。	2
〈調べる〉	学習計画に沿って調べ学習を進める。	3
〈まとめる〉	調べたことをスライドにまとめ、発表をする。	3
〈いかす〉	世界との関わりや国際交流について考える。	2

私が調べる国は…

調べるテーマは…

【学習チェック表】

やること	自己評価 ◎ ○ △
①調べる国とテーマの決定をする。	
②グループのメンバー(ホームグループ)と相談し、学習の計画を立てる。	
③調べる国のテーマについて、情報を集め、テキストにメモをしたり、ノートにまとめたりする。	
④同じテーマを選んだ友達(エキスパートグループ)と情報交換をする。	
⑤今まで調べてきたことについて、ホームグループで情報を共有する。	
⑥発表に向けて、調べてきたことをまとめたテキストを作成する。	
⑦他のグループに向けて、わかりやすい発表をする。	
⑧他のグループの発表を聞いて、日本と関わりの深い国の様子を理解した。	

【単元のふりかえり】

①



アメリカとの関係

日本と同じところ

違うところを

見つけよう！



③

日本とアメリカの違い、そして
アメリカの良さって何だろう？

総人口：3億2700万人

→世界第3位！！

②

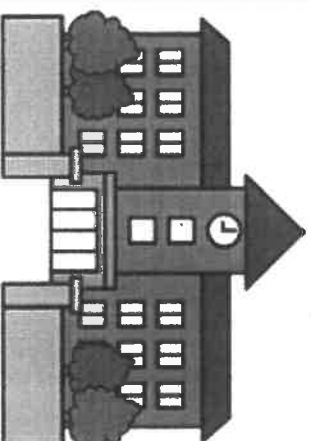
国土の総面積：985万平方キロメートル

日本→首相 アメリカ→大統領
現在：バイデン大統領



A. 学校の様子

④



⑤

「学校に行く方法」

- 歩く
- 自転車
- 車で送ってもらう
- スクールバス→多数派



⑥

「授業」

- 20人くらいで行う
- 自分の意見を大切にする。

↓

スピーチ } 盛ん
 ↓ }
 デイベート }



放課後の様子

⑧

- 制度
- 成績が良い子...飛び級↔留年

教科書は使い回し

↓
無償



子ども達だけで遊ぶとすれば

- 学校の敷地内
- 親や付き添いの大人が近くにいる
- 近所などで一緒に遊ぶ



⑨ 小学生の放課後の過ごし方パターン

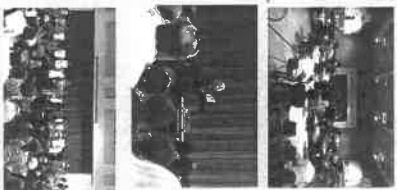
- 家で過ごす
- ゲーム、テレビ
- 宿題をやる
- 家族のお手伝い
- 習い事やグループに参加する



卒業式の流れ

11

- 1、会場は小学校の体育館
- 2、校長先生の挨拶
- 3、卒業証書授与



〈まとめ〉 13

- アメリカと日本の学校の違いはアメリカでは飛び級がある
- 放課後の様子は日本と似ている
- アメリカでは入学式がない

アメリカのスポーツ
代表的なスポーツは、アメリカンフットボール、野球、
バスケットボール、サッカー、アイスホッケー

15

順位 最も好きなスポーツ

- 1 アメリカンフットボール 37%
- 2 バスケットボール 11%
- 3 野球 9%
- 4 サッカー 7%
- 5 アイスホッケー 4%
- 6 モーターズスポーツ 2%
- 6 テニス 2%
- 8 コルフ 1%
- 8 バレーボール 1%
- 8 ボクシング 1%
- 8 体操 1%
- 8 モトクロス 1%
- 8 フォークラスケート 1%
- 8 ロデオ 1%

⑩ 入学式、卒業式の様子

- 学校は9月に始まり、6月末に終わる
- アメリカでは日本のような入学式は無い

12

- 4、卒業生代表のスピーチ
- 5、卒業生合唱
- 6、スライドショー



14

アメリカ B行事など

ニューイヤーズ・デー New Year's Day 16

1月1日/アメリカ連邦政府が定める連邦祝日
(Federal holiday) の一つ。日本で言う「元旦・元日」にあたるが、アメリカでは1月2日から平日営業に戻る。

母の日 Mother's Day

5月第2日曜日/元祖アメリカではかつて白いカーネーションが贈られていた

バレンタインデー Valentines Day

2月14日/アメリカでは男性から女性へバラやチョコレートを贈る

チップ 17
飲食店での食事やホテル宿泊時などで、サービスを受ける際には支払うのが基本となっている。相場は支払額の15～20%ほど。

赤信号でも右折OK

日本と異なり、車は右側通行。交差点のほとんどは、一時停止して歩行者や車が来ないことを確認すれば、赤信号でも右折可能だ。また速度単位はキロメートルではなくマイル表示なので、運転には細心の注意を。



19

C産業 について

日本との違い 21

アメリカは、雄大な農地と大型機械を利用し、気候や土壌に最適な作物を大量生産している。

日本は、山林が多く人口も多いため、農地に割ける面積が少ない。



23

アメリカの衣・食・住

＜まとめ＞ 18
アメリカは、アメリカ伝統のスポーツやルール、行事などがある。面白いルールなどもあった。アメリカのことを知れて楽しかった。協力することで、早く調べられるし、

アメリカのトウモロコシの生産量1位
輸出量1位 20



自動車産業優位
自動車、機械の輸出が多い

農薬

トウモロコシ、小麦、大豆の生産がさかんなアメリカは、この三種類は農薬をあまり使わずに生産できる。

22

「まとめ」

アメリカと日本の違い 24
・生産しているものが違う
・自動車産業が盛ん
・雄大な土地を活かして気候に適した作物を作っている

24

衣

日本とアメリカ のファッション の違い

日本

- 人に見てもらおうために服を着る
- 流行に左右されやすい
- 美は可愛く幼いこと
- 他の人の目線に影響されて服を買う

日本人は服を選ぶときに

アメリカ

自分の可愛いよりも
流行に目を向ける

- 自分の心地よさのために服を着る
- 人は人、私は私という考えで流行に左右されにくい
- 美は大人っぽくクールなこと
- 自分に似合っている服を買う

アメリカ人は

自分に似合う服を買い、着る

食

伝統的な料理

- 七面鳥 
- ベーグル&ロックス 
- バツファローウイング 
- クラムチャウダー 
- ポーク&ビーンズ 
- ベークド・ポテト 
- コーンブレッド 

バッファローウイング

- 鶏肉の手羽を素揚げにしたもの
- 辛いソースをかける



バッファローは使ってな

33

日本とアメリカの食の違い

アメリカ

34

- ・主食は主に小麦食品
- ・冷凍食品や加工食品が広く発展しているため料理にあまり手間をかけない
- ・ファストフードは驚くほど多い

35

日本

主食はお米
食事には多くの手間がかかる
日本はおかずの量が多い

36

住

37



- ・広い
- ・平均148平米



38

家族でホームパーティーなど楽しむ



記念日などは家族や親戚が全員集まる

39

世界にも広がっているもの

40

衣 : ジーンズ

食 : ハンバーガー

～まとめ～

日本とアメリカでは伝統料理をはじめとした様々な文化が違う。

個人個人の良いところを尊重できる素敵な国である。

アメリカと日本では教育制度が違う。アメリカはどうもろこしの生産量が多い。さまざまな行事があり、そこで食べる、

たくさんさんの伝統料理がある。個人個人が尊重される素晴らしい国である。

資料 5 抽出児童の様子

抽出児童 A 児（公津の杜）の各時間の振り返り
 調べた国：中国 テーマ：D 産業の特色

時間目	各時間の振り返り
第 2 時	日本とつながりが深い 4 か国について知った。自分が調べたい国を調べられるので、今後の学習が楽しみになった。歴史で学習したように、中国とは昔から様々な交流があるので、現在ではどのような交流をしているのかを調べていきたい。また、どのようなことに気をつけて交流していくべきかも考えていきたい。
第 6 時	僕は、産業の「技術」面について調べていたけれど、他のみんなは、農業などの食べ物について調べていることが多かった。日本は食料自給率が低く、他国どうまく関わりながら食料を確保している。また、そこにはたくさんさんの課題もあると思う。次の調べ学習では視点を変え、みんなの知りたいたいことを調べ、興味が湧くような内容にしたい。
第 7 時	今日は、ホームグループの中で伝えたいことを言っていた。また、発表での変更点などを共有し、発表に向けて確実に進んでいます。今日は、グループと協力して素敵な時間を共有することができた。豊住の子どももロイロノートと meet を使って現段階を確認することができた。計画的に行動できてよかった。次は、個人作業を進めて、残り 1 時間を思いっきりがんばる。
第 1 0 時	自分で調べ、画像を選んでスライドを作るのは楽しかった。今までと違い、文字のスピード、画像を自分でコントロールできるのが、いいと思った。交流をすることで、他の学校の様子や考え方、テキストの作りなど、少し違くておもしろかった。他国のことを知ることは、その国のことを尊重することにつながると思うし、尊重することができれば、それは世界平和にもつながると思う。僕たちが住む成田市にはたくさんさんの外国人がいるので、関わることであれば、その方の今までの習慣や文化があることを大切にしていきたい。

各時間の振り返りの記述から、学びに向かう力・人間性等の評価及び思考力・判断力・表現力等を A とした。第 6 時では、ジグソー学習による他者との交流を通して、新たな気付きが生まれ、自己の考えを広げ深めている様子が見受けられる。「考えを広げ深める」の言葉の定義は、本編 P 2 参照。）この記述から、本研究の手立てであるジグソー学習の有効性が見える。第 7 時からは、計画的に学習している様子が見受けられる。単元の導入段階でユニットシートを配付し、単元の全体像や毎時間の学習を見通せるようにしたことが有効に働いている。第 1 0 時からは、今回の学習を自分事として考え、外国人の習慣や文化を大切にしたいと、今後の生活に生かそうという様子も見られた。

抽出児童 B 児（公津の杜）の各時間の振り返り
 調べた国：サウジアラビア テーマ：A 衣食住の特色

時間目	各時間の振り返り
第2時	日本とつながりがある国について知りました。私は、サウジアラビアについて全然知らないで、詳しくなるために今回の学習で調べていきたいと思えます。豊住小との交流が楽しみです。
第6時	いろいろな国のことを知ることができました。内容だけでなく調べ方、まとめ方など新しい発見がありました。アメリカは日本と全然生活の様子が違いました。韓国や中国は日本と同じアジアなだけあり、共通点も多くありました。こうして他の国を知ることが、たくさんの国の人と上手にコミュニケーションを取ることにつながるのかなと思いました。
第7時	発表の構成を決めることができました。資料をわかりやすくまとめることができました。でもまとめるのに時間がかかってしまい、あまり進まなかったで、次の時間に頑張りたいと思います。
第10時	私は他の学校と交流するのは初めてのことだったので、どう接したらいいのかわかりませんでした。初めて交流したときはとても緊張していましたが、学習を進めて行くにつれて、仲良くなっていきました。発表の後には、拍手をしてくれてうれしかったです。特にロイノートでのやりとりが上手にいったと思います。私はサウジアラビアの衣食住について調べました。サウジアラビアと日本は似ているところより違うところが多くあってびっくりしました。似ているところと違うところを知ったことで、外国の良さもわかったし、日本の良さにも改めて気付きました。文化がらがっても大切にしなければいけないと感じています。

各時間の振り返りの記述から、学びに向かう力・人間性等及び思考力・判断力・表現力等の評価を B とした。第6時では、エキスパートグループによる協働的な学習が有効に働いていることが見受けられる。一人で学習するだけでは獲得できない知識も、エキスパートグループで共に学習することで、新たな発見をすることができるといえる。このようにして、他国を理解することが、国際交流をするうえで大切なことであるという気付きを生むことができた。第7時からは、発表を見据えて丁寧に取り組み、粘り強く学習していることがわかる。また、本時の進捗状況を自分で客観的に捉えることができ、次につなげようとしていることが見受けられる。第10時からは、異なる習慣や文化を尊重しようとする様子が見受けられる。

抽出児童C児（豊住）の各時間の振り返り

調べた国：サウジアラビア テーマ：B学校の特色や子ども達の生活

時間目	各時間の振り返り
第2時	サウジアラビアは、日本の文化や習慣との違いがたくさんありそうな気がする。学校の様子について調べていくので、日本での学校生活を振り返って、比べられるようにしていきたい。
第6時	ジグソー学習で他国の学校の様子を聞く中で、 <u>自分が調べられていない項目に気がつく事ができた。</u> 写真やグラフを入れることで根拠のある資料になりわかりやすくなった。 <u>次の時間には、学校行事や掃除などについても調べていきたい。</u> 根拠になる資料やデータを探してより良いスライドにしていきたい。
第8時	各国の発表を聞いて、日本と似ているところや違うところがあることがわかった。特にサウジアラビアは宗教の関係もあり、日本と比べても違う生活や習慣があることに気がついた。だが、ガソリンなどで日本と深い結びつきがあるので、日本にとって大切な国の一つであると感じた。
第10時	国によって文化の違いがあることに気が付けた。文化や宗教によって生活の様子や学校生活が異なるのだと知る事ができた。日本人としての文化や習慣を大切にしていきながらも、他国の文化を知っていく事が大切であると思う。 <u>成田にも多くの外国人が観光などでやってくる。日本人と異なる格好や言語を使用しているても、変だなと思うのではなく、その国の大切な文化だと尊重する気持ちが大切だと思った。</u>

各時間の振り返りの記述から、学びに向かう力・人間性等の評価及び思考力・判断力・表現力等をAとした。第6時のジグソー学習を通して、他国の情報を参考に次時の学習計画を立てることができた。協働的な学習を通して、自らの考えを見直したり、新たな考えを知ったりすることができ、学習計画を再構築する自己調整する力も身につけていた。

単元終了後の感想から、他国との文化の違いを知った上で、他国の文化を尊重することについて自分事として捉え考えていた。文化を尊重することの第一歩は他国の文化に興味をもち知ることだと捉え、実践していく態度が見られた。

抽出児童 D 児（豊住）の各時間の振り返り

調べた国：中国 テーマ：B 学校の特色や子ども達の生活

時間目	各時間の振り返り
第 2 時	中国について調べることにした。中華料理が好きなので、料理について調べて日本とのつながりを調べたい。
第 6 時	中国の学校の様子や給食について調べた。日本と違って昼休みが長く、一回家に帰って昼食を食べる人もいることが驚いた。国によって学校生活も違うことを知ることができた。
第 8 時	各国の発表を聞いて、日本との違いがたくさんあって驚いた。日本の習慣や生活が当たり前だと思っていたが、国によって違うことを知ることができた。
第 10 時	4 つの国の文化や習慣を調べていく中で、日本との違いを知ることができた。

各時間の振り返りの記述から、思考力・判断力・表現力等を C とした。第 6 時ではジグソー学習を通して他国との比較を通して学びの再構成をする時間であった。しかし児童の感想を見ると、他国との違いには気がついていない一方、話を聞いて比較したり、新たな課題を見つたりすることができていなかった。必要な手立てとしては、思考を整理できるワークシートを活用することである。自分が調べている国との違いや新たな視点を書き込んでいけるワークシートを活用することで、次時に繋がる学習になったように思う。

単元終了後の感想から、他国の文化との違いについては理解できているが、文化を尊重していくことについて考えることができていない。

資料 6 評価テスト

単元の学習終了後に独自に作成した評価テストを実施した。テストの内容は、各自が調べた国 1 か国について問うものである。学校で一括購入したワークテストは、4 か国について出題されている。4 か国の中から 1 か国を選択して学習を進める本単元では、ワークテストは適していないと考えた。本資料では、1 か国のみ次ページに掲載する。

自分が選んだ国を下記から選び丸を付けましょう。

(アメリカ・韓国・中国・サウジアラビア)

1 選択した国は、下の地図のどこにありますか。記号を書きましょう。 10点[10点] (知・技)



2 選択した国の首都、人口に丸を付けましょう。各5点[10点] (知・技)

(1) 首都

リヤド 北京 ソウル ワシントンD.C.

(2) 人口(2018年) 約3億2700万人 約14億1500万人 約3400万人 約5100万人

3 選択した国についての説明をしているものを3つ選び、□に記号で答えましょう。各10点[30点] (知・技)

A 子どもたちはイスラム教の聖典であるコーランを学ぶよ。

B 500年ほど前につくられた、ハンゲル文字が使われているよ。

C 1月末から二月中旬に行われる春節は、学校・商店・工場などが休みになり、故郷に帰省する人が多くいるよ。

D この国から日本に伝わってきたものの中には、お茶や漢字、漢方薬などがあるよ。

E ハンバーガーやジュースはこの国から世界に広がったよ。

F 冬が寒いので、キムチなどの辛い料理が多くあったね。

G 広い国土を利用して農業・工業・宇宙開発など世界をリードしているよ。

H 多くの国がこの国の石油に頼っているよ。

I 人口増加をおさえる「一人っ子政策」を行っていたよ。

J 上下関係や伝統を重視した儒教の教えを大切にしているよ。

K 学校では、能力による飛び級があり、いろいろな人種の人が学びあっているよ。

L 男女の区別が特ちよう的で、男女別々の教室で学習を行っているよ。

資料 7 参考資料

- ・『小学校学習指導要領解説 社会編』（2017）文部科学省.
- ・澤井陽介・唐木清志（2021）『小中社会科の授業づくり 社会科教師はどう学ぶか』東洋出版社.
- ・西川純（2019）『人生100年時代を生き抜く子を育てる！個別最適化の教育』学陽書房.
- ・富田明広・西田雅史・吉田新一郎（2021）『社会科ワークショップー自立した学び手を育てる教え方・学び方ー』新評論.